

道内の感染状況等について (案)

【令和5年4月21日】

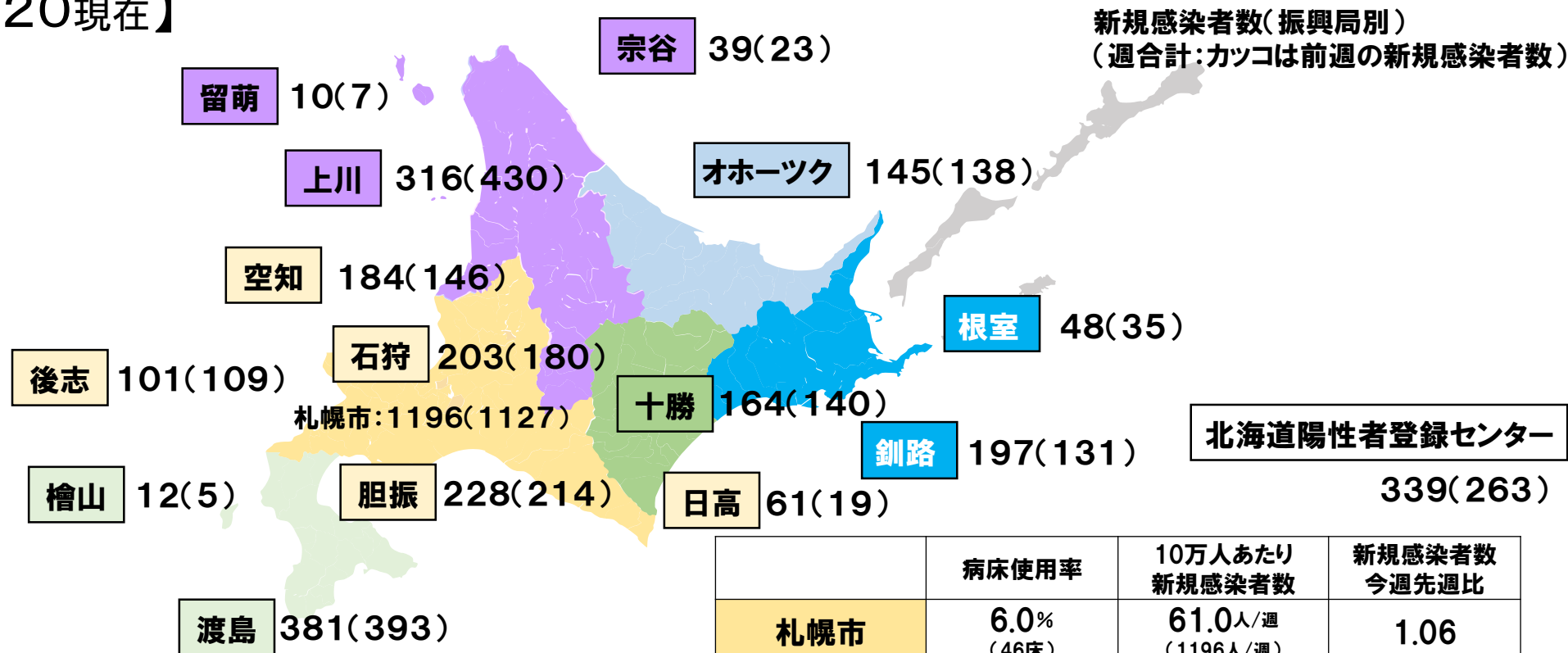
指標の状況

| | | 指標 | | (参考) | |
|------|-----|---------------------|-------------------|--|---------------------|
| 4/20 | レベル | 病床 使用率 | 重症病床 使用率 | 10万人当たり 新規 感染者数 | 新規 感染者数 今週先週比 |
| 全道 | 1 | 6.8% (164床) ↓ | 2.5% (3床) ↑ | 69.9人/週 (3624人/週) ↑ | 1.08 ↑ |
| | 1 | 6.0% (46床) ↓ | 0.0% (0床) → | 61.0人/週 (1196人/週) ↑ | 1.06 ↑ |
| | 1 | 7.2% (118床) ↓ | 4.1% (3床) ↑ | 75.3人/週 (2428人/週) ↑ | 1.09 ↑ |
| レベル1 | | 0～30% | — | レベル1・2については病床使用率、レベル3・4については病床使用率・重症病床使用率の指標によることとし、事象も勘案するなど、総合的に判断 | |
| レベル2 | | 30～50% | — | | |
| レベル3 | | 50～80% | 50～80% | | |
| レベル4 | | 80%～ | 80%～ | | |

※()は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

地域における指標の状況

【4/20現在】



※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。

※北海道陽性者登録センター分は地域別の内訳が把握できないため、各圏域の新規感染者数には含まれていない。

| | 病床使用率 | 10万人あたり 新規感染者数 | 新規感染者数 今週先週比 |
|----------------|----------------|----------------------|-----------------|
| 札幌市 | 6.0% (46床) | 61.0人/週 (1196人/週) | 1.06 |
| 道央圏 (札幌市除く) | 5.4% (29床) | 58.1人/週 (777人/週) | 1.16 |
| 道北圏 | 9.3% (32床) | 62.8人/週 (365人/週) | 0.79 |
| 道南圏 | 16.2% (43床) | 95.6人/週 (393人/週) | 0.99 |
| 十勝圏 | 3.4% (6床) | 49.4人/週 (164人/週) | 1.17 |
| オホーツク圏 | 2.8% (4床) | 53.8人/週 (145人/週) | 1.05 |
| 釧路・根室圏 | 2.2% (4床) | 83.9人/週 (245人/週) | 1.48 |

総 評 ①

【医療提供体制】

- 病床使用率については6.8%と、10%を下回って横ばいが続いている。同様に札幌市も6.0%となっている。重症病床使用率は2.5%と、低い水準で推移している。

【感染状況】

- 国の専門家からは、全国の新規感染者数は下げ止まりの後、足下で緩やかな増加傾向となっている、と指摘されている。道内の新規感染者数は、人口10万人当たりでは69.9人と、3月28日以降、今週先週比が1.0を上回って推移してきたが、足下では増減を繰り返している。年代別では、30代以下の割合が約5割となっている。
- 現在の流行株について、国の専門家からは、BA.5系統の割合は低下傾向にあり、XBB系統などが上昇傾向にある、と指摘されており、道内においても、4月に入りXBB系統の検出数が増加してきている。
※道内の検出状況 XBB系統:67件(4月1日~20日 45件)
- 季節性インフルエンザについて、道内では減少が続き、全ての保健所で注意報レベルを下回っている。国の専門家からは、例年の傾向を踏まえると、今後さらに減少することが見込まれる、と指摘されている。

| | | | |
|------------|-------------|------------------|---|
| 4/10~4/16 | 実数 533人 | 1定点当たり 2.38 | ※保健所管内ごとに定点医療機関数は異なるため、流行入りや注意報、警報の実数はそれぞれ異なる。定点報告の詳細は北海道感染症情報センターHPを参照 |
| 流行の目安 | 実数 224人 | " 1.0以上 | |
| 注意報(警報)の目安 | (各保健所ごとに発令) | " 10.0以上(30.0以上) | |

総評 ②

【ゴールデンウィークに向けた呼びかけ】

- 4月末からゴールデンウィークが始まる。この時期は、旅行や帰省などの移動が活発になり、人との接触機会が増えることから、引き続き、三密回避、人との距離の確保、手洗い等の手指衛生や十分な換気といった基本的な感染対策の実践やオミクロン株対応ワクチンの速やかな接種の検討について、道民の皆様に呼びかける。

【5類移行への対応】

- 国は、5月8日の5類移行を予定どおり行うか、4月下旬に最終確認することとしている。
- 道では、国の考え方を踏まえ、5類移行に向けた必要な準備を進め、この度、有識者等や市町村のご意見を伺った上で、道の対応(案)として取りまとめた。今後、市町村等と連携しながら、道民の皆様に分かりやすく周知するとともに、入院等の段階的移行が円滑に進むよう、医療機関に丁寧に働きかけていく。
～(資料3「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う道の対応について(案)」)
- 入院等に関する「移行計画」については、道の対応(案)を踏まえ、4月21日に国へ提出する。今後、計画において予定する最大確保病床1862床を活用していくことはもとより、新たな医療機関における患者受入の対応を丁寧に働きかけるなど、幅広い医療機関にご協力いただけるよう取り組む。

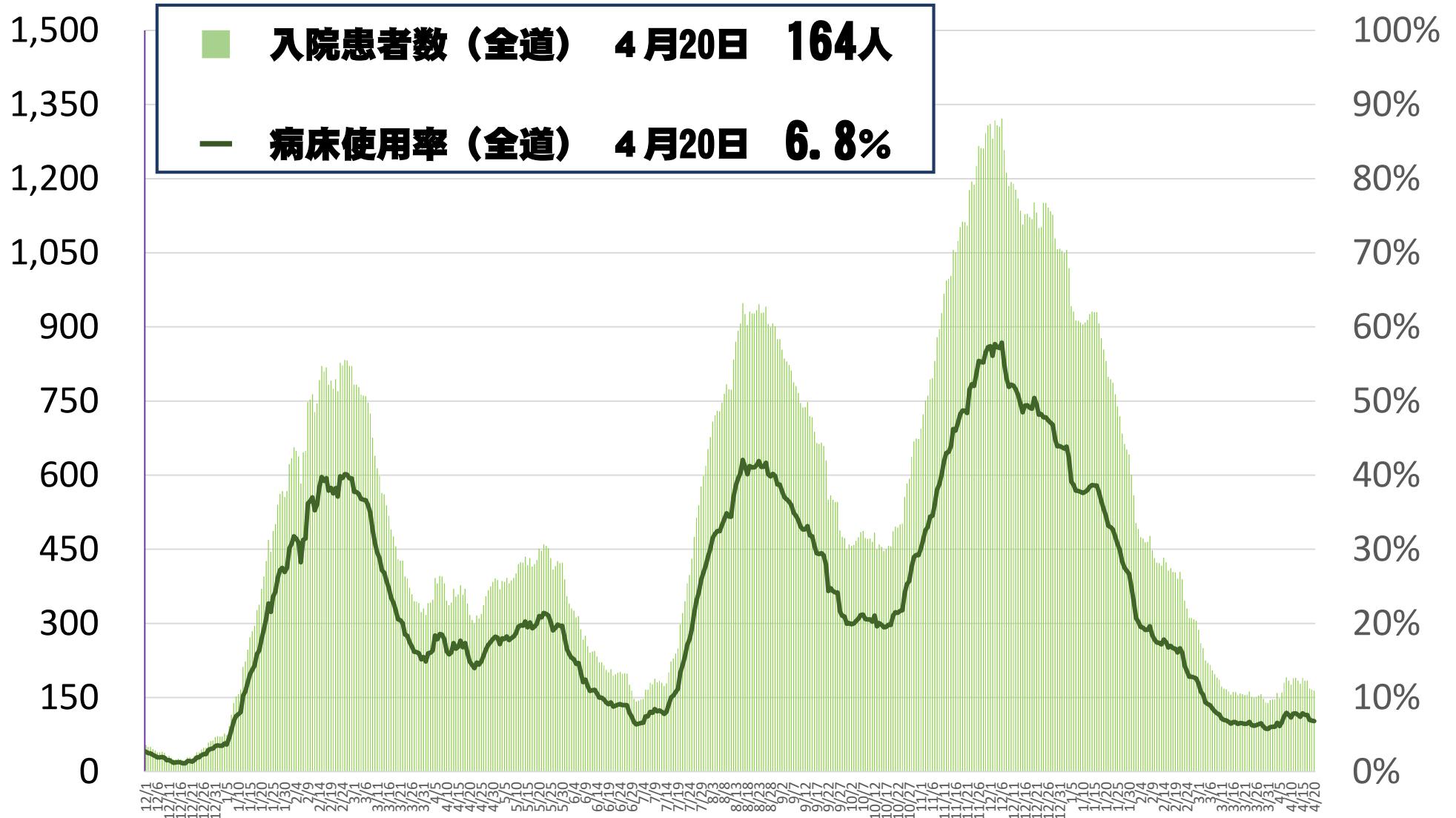
総評 ③

- 5類移行後の基本的な感染対策について、国は、個人や事業者の判断に委ねることを基本とし、それぞれの方の判断に資するよう、引き続き、手洗い等の手指衛生や換気が有効であることなどを示した。また、業種別ガイドラインの対応や患者の療養期間などについても、国は考え方を示し、道では、こうした考え方について、速やかに周知を進めてきた。引き続き、5類移行に関する情報が国から示された場合には速やかに周知を行うなど、道民の皆様や事業者の方々が適切に対応できるよう、情報発信を行っていく。
- 現在の道の対策本部は廃止し、その後については5類への円滑な移行を進めるとともに、これまでを振り返り、新たな感染症危機への備えの検討や病原性が大きく異なる変異株が生じた場合の初動対応を行うため、知事を本部長とする新たな全庁的体制を構築する。

入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

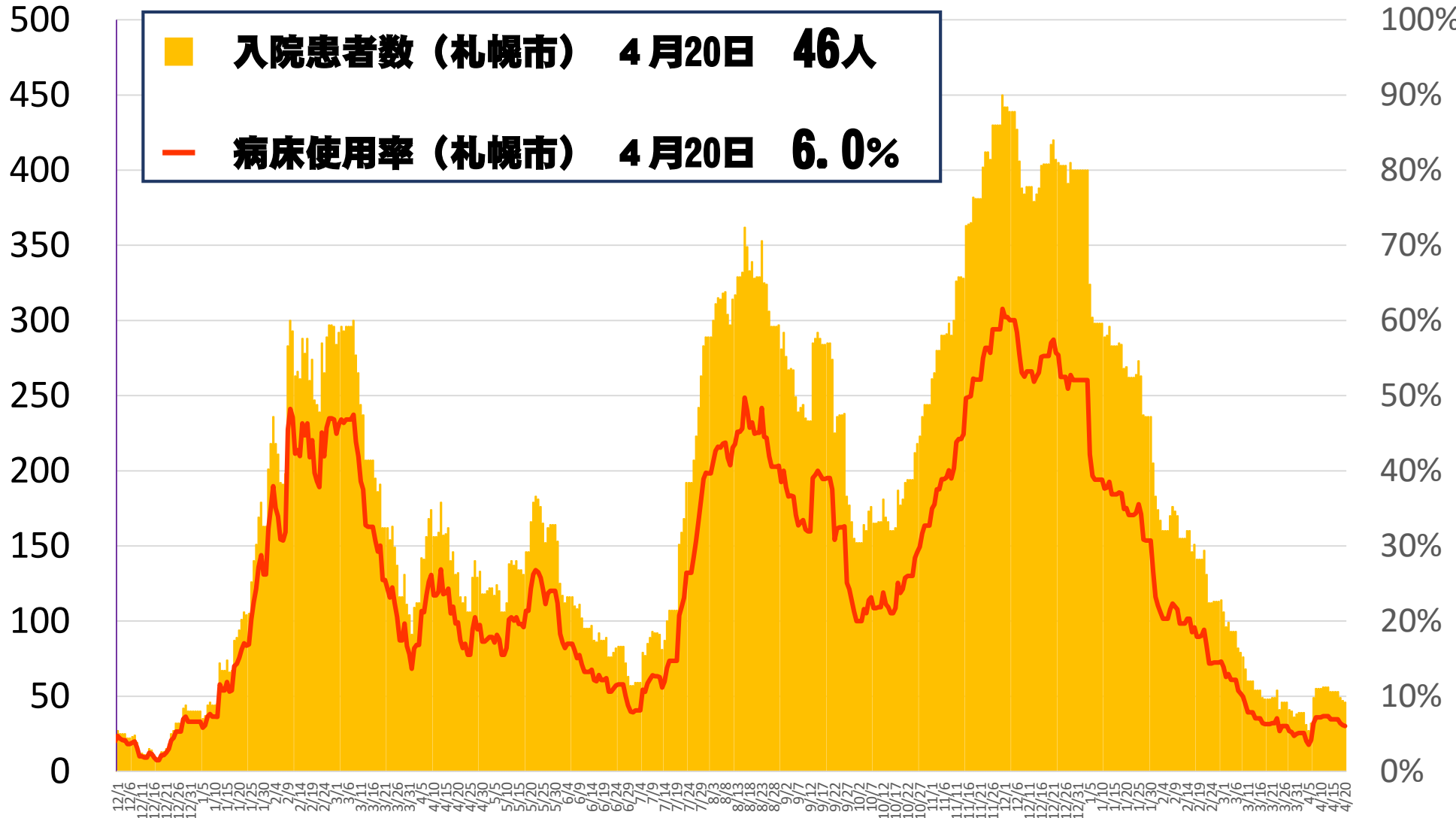
病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率

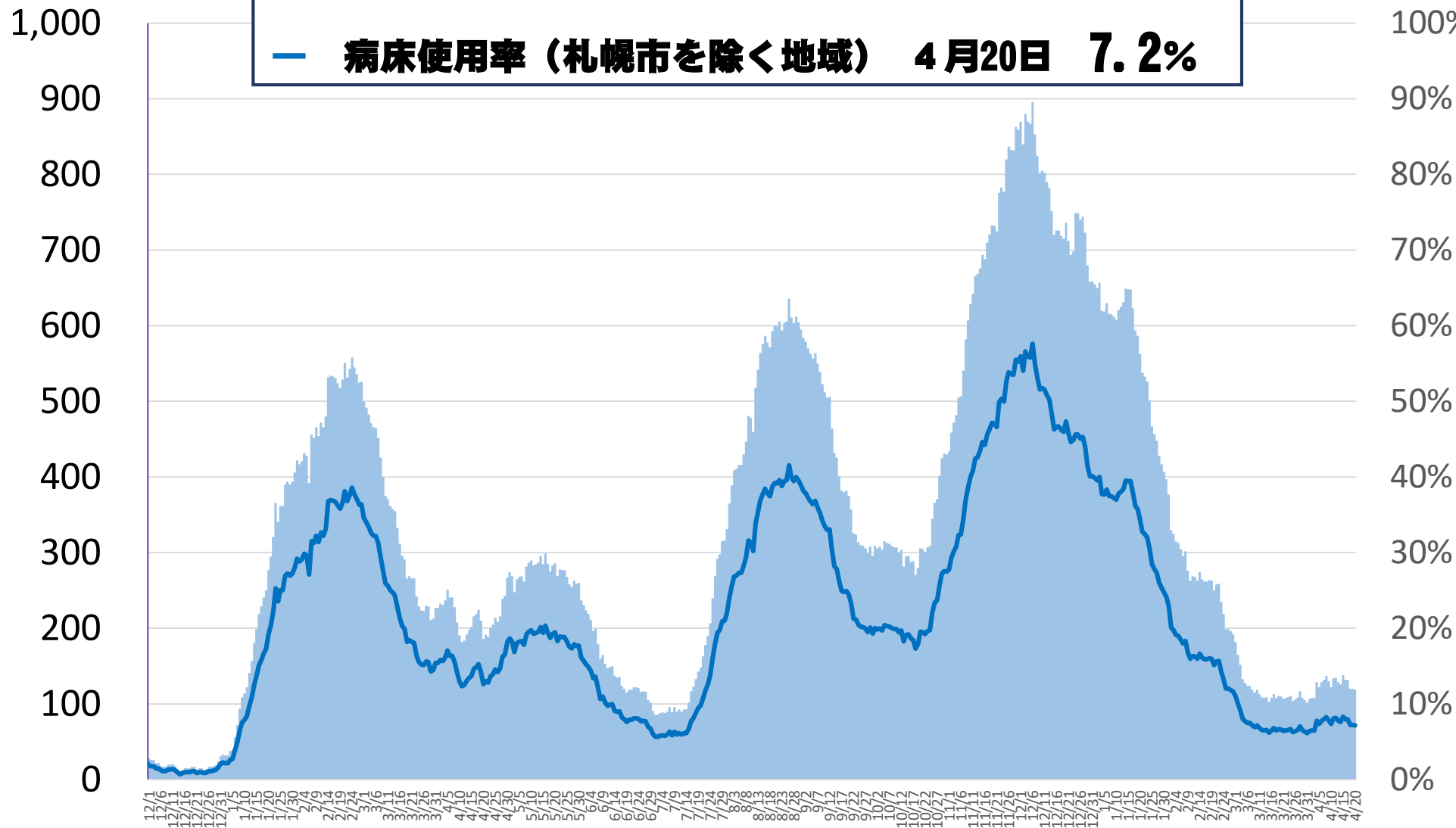


入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

■ 入院患者数（札幌市を除く地域） 4月20日 118人
— 病床使用率（札幌市を除く地域） 4月20日 7.2%

病床使用率



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

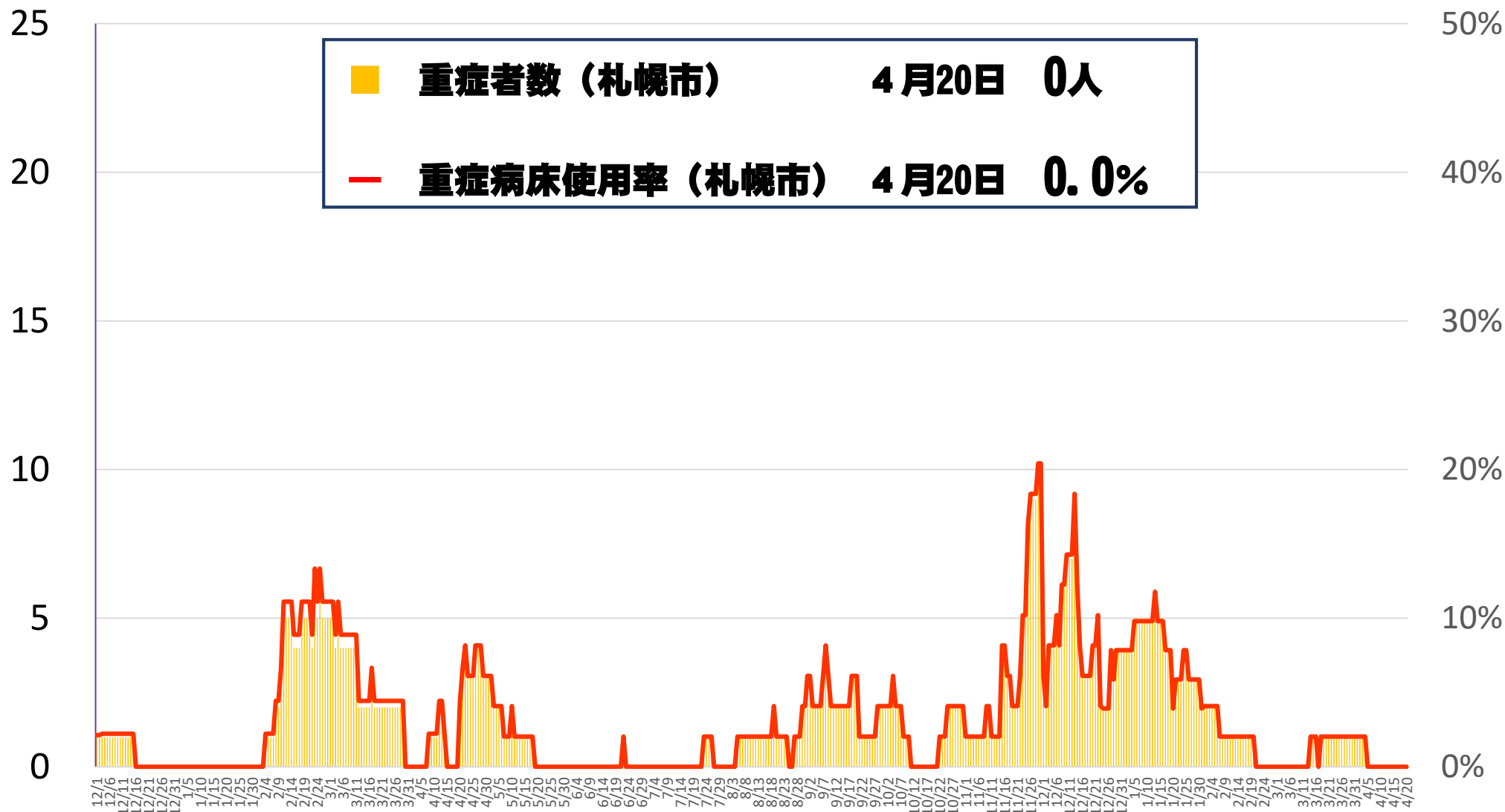
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

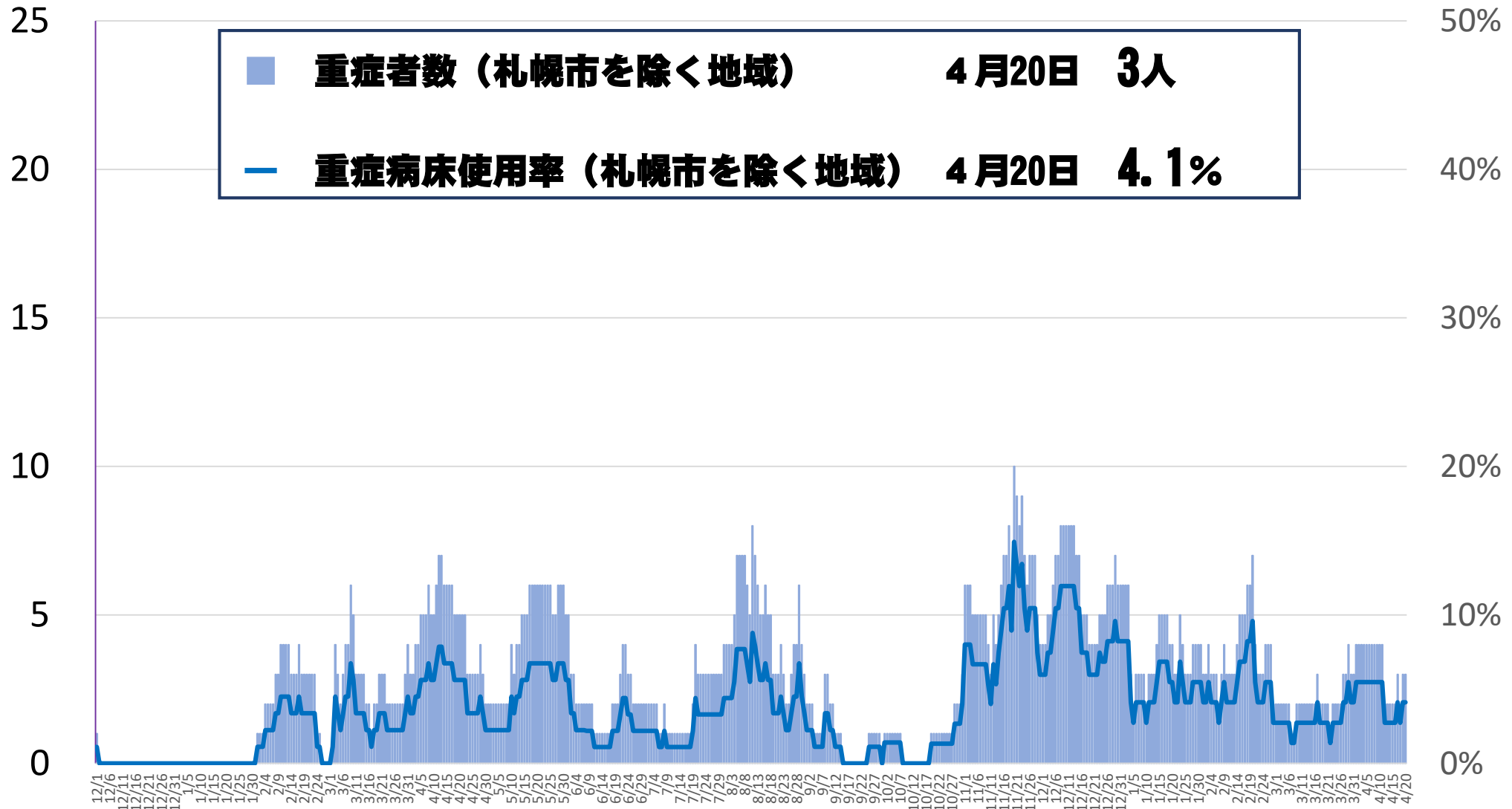
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

病床使用率

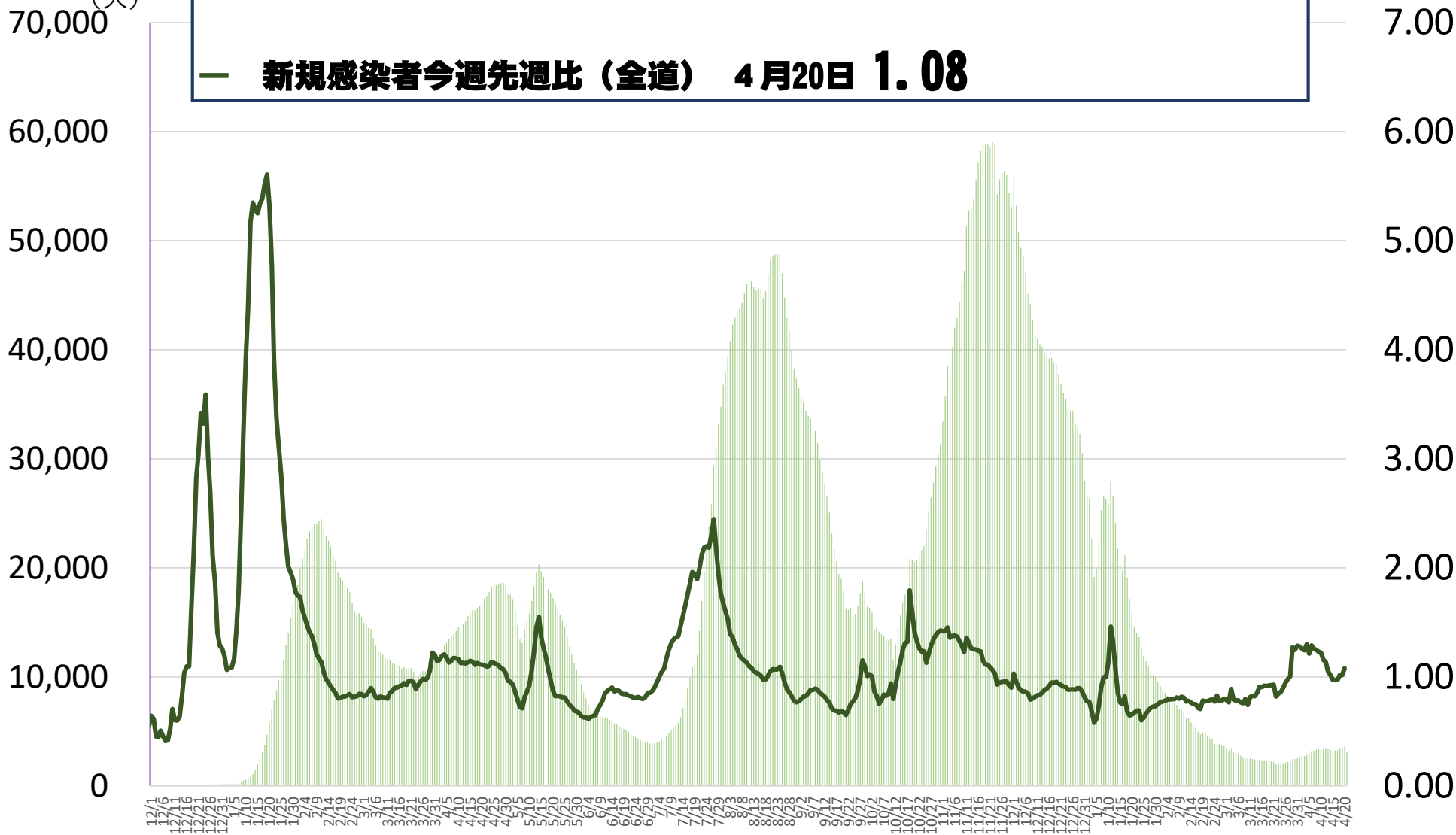


新規感染者数（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

新規感染者
今週先週比

■ **新規感染者数（全道） 4月20日 3,624人（10万人あたり69.9人）**
 — **新規感染者今週先週比（全道） 4月20日 1.08**

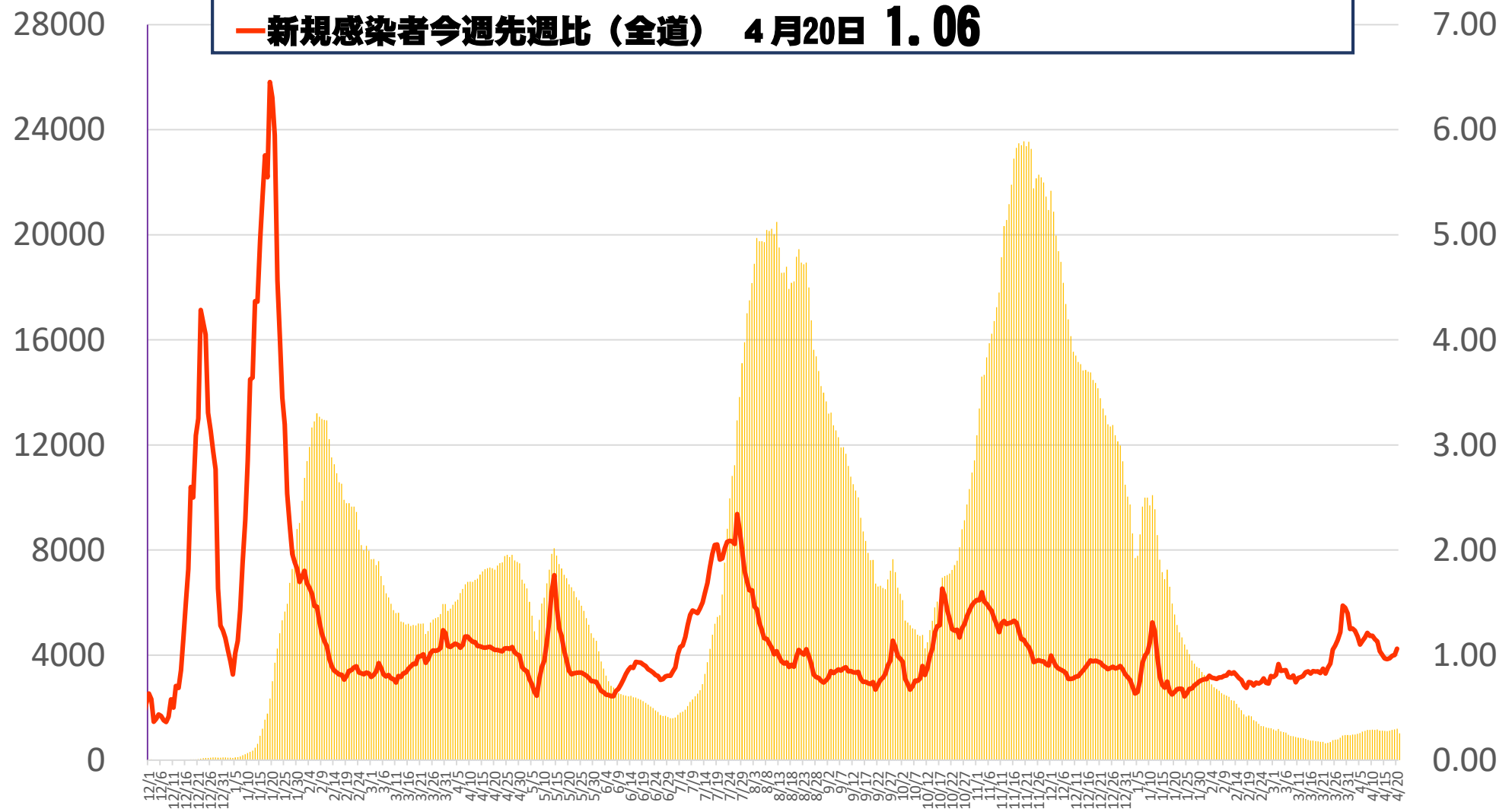


新規感染者数（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 4月20日 1,196人（10万人あたり61.0人）**
— **新規感染者今週先週比（全道） 4月20日 1.06**

新規感染者
今週先週比

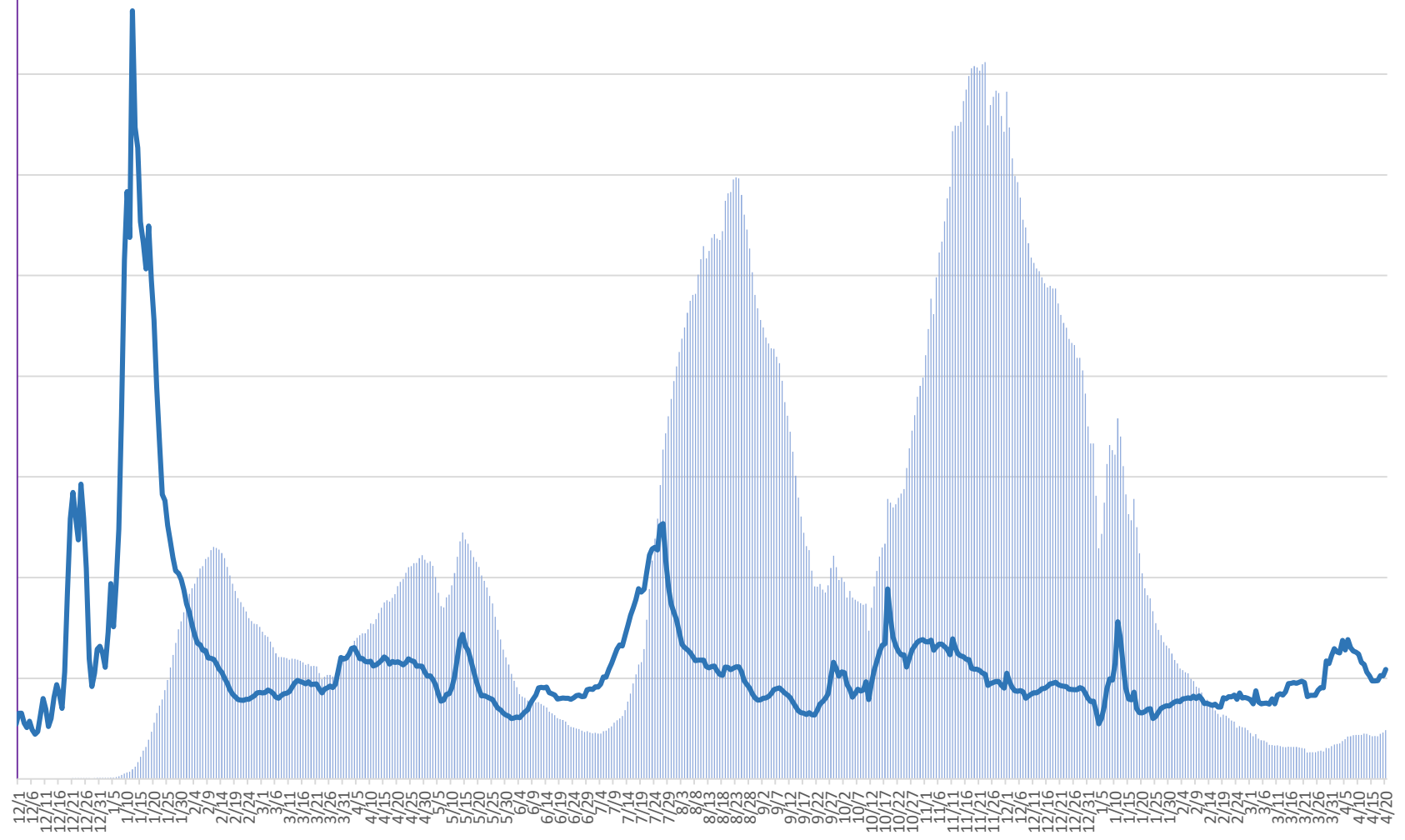


新規感染者数（札幌市を除く地域）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市を除く地域） 4月20日 2,428人（10万人あたり75.3人）**
 — **新規感染者今週先週比（全道） 4月20日 1.09**

新規感染者
今週先週比



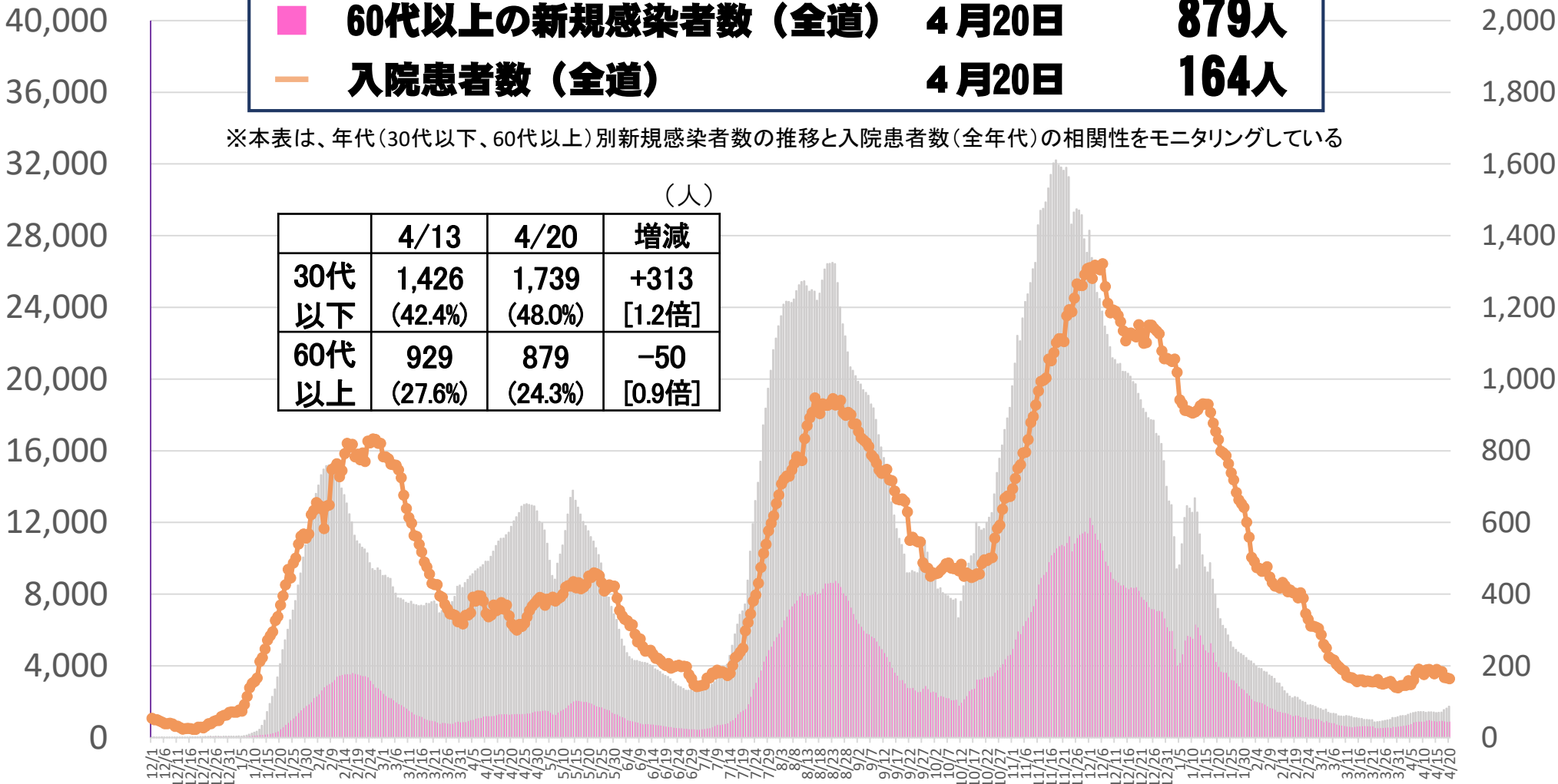
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

| | | | |
|---|-------------------------|--------------|---------------|
| ■ | 30代以下の新規感染者数(全道) | 4月20日 | 1,739人 |
| ■ | 60代以上の新規感染者数(全道) | 4月20日 | 879人 |
| — | 入院患者数(全道) | 4月20日 | 164人 |

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

| | 4/13 | 4/20 | 増減 |
|-----|---------------|----------------|----------------|
| 10代 | 250 (7.4%) | 480 (13.2%) | +230 [1.9倍] |

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

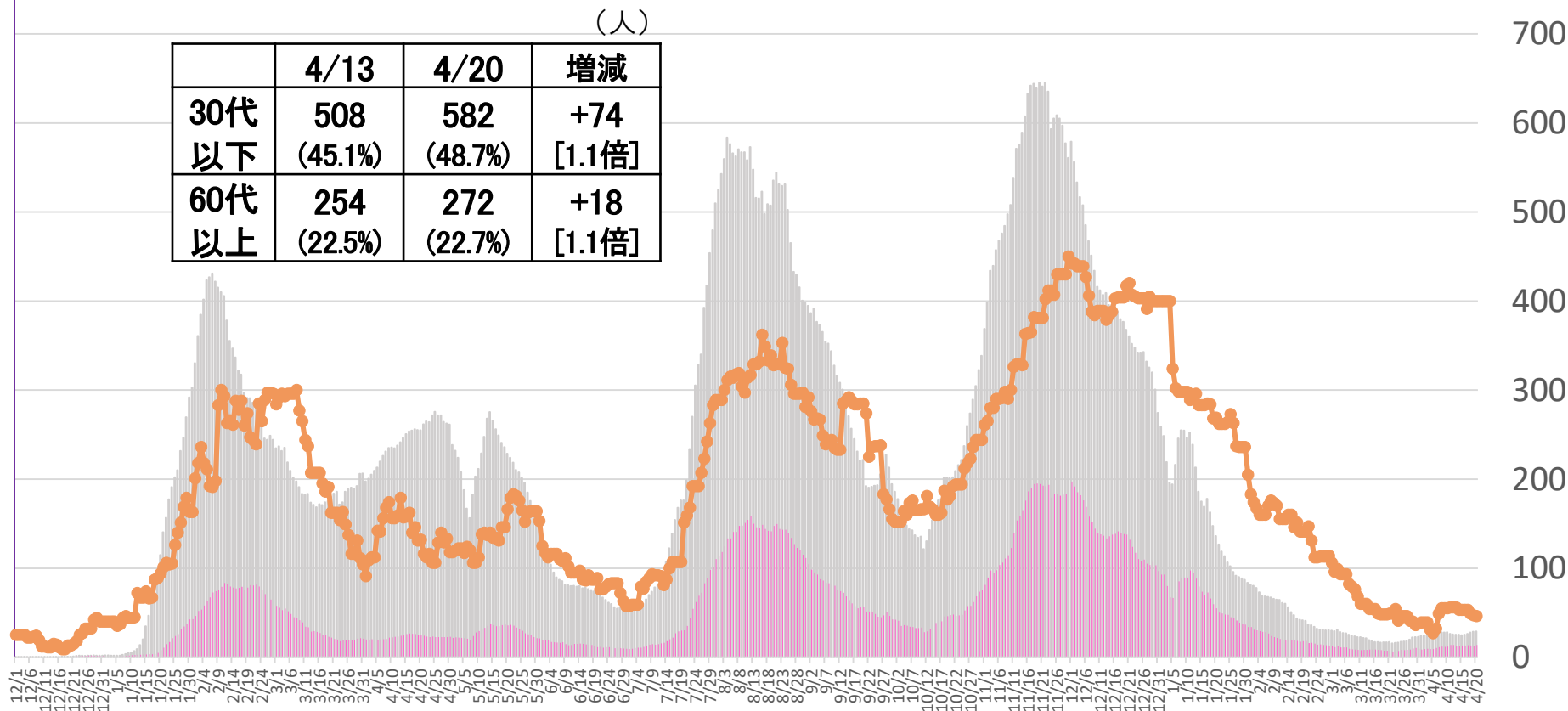
新規感染者数
(7日間合計)
(人)

入院患者数
(人)

| | | |
|----------------------|-------|------|
| ■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市) | 4月20日 | 582人 |
| ■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市) | 4月20日 | 272人 |
| — 入院患者数 (札幌市) | 4月20日 | 46人 |

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている

| | 4/13 | 4/20 | 増減 |
|-------|----------------|----------------|---------------|
| 30代以下 | 508 (45.1%) | 582 (48.7%) | +74 [1.1倍] |
| 60代以上 | 254 (22.5%) | 272 (22.7%) | +18 [1.1倍] |



(参考)

| | 4/13 | 4/20 | 増減 |
|-----|--------------|---------------|---------------|
| 10代 | 99 (8.8%) | 117 (9.8%) | +18 [1.2倍] |

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

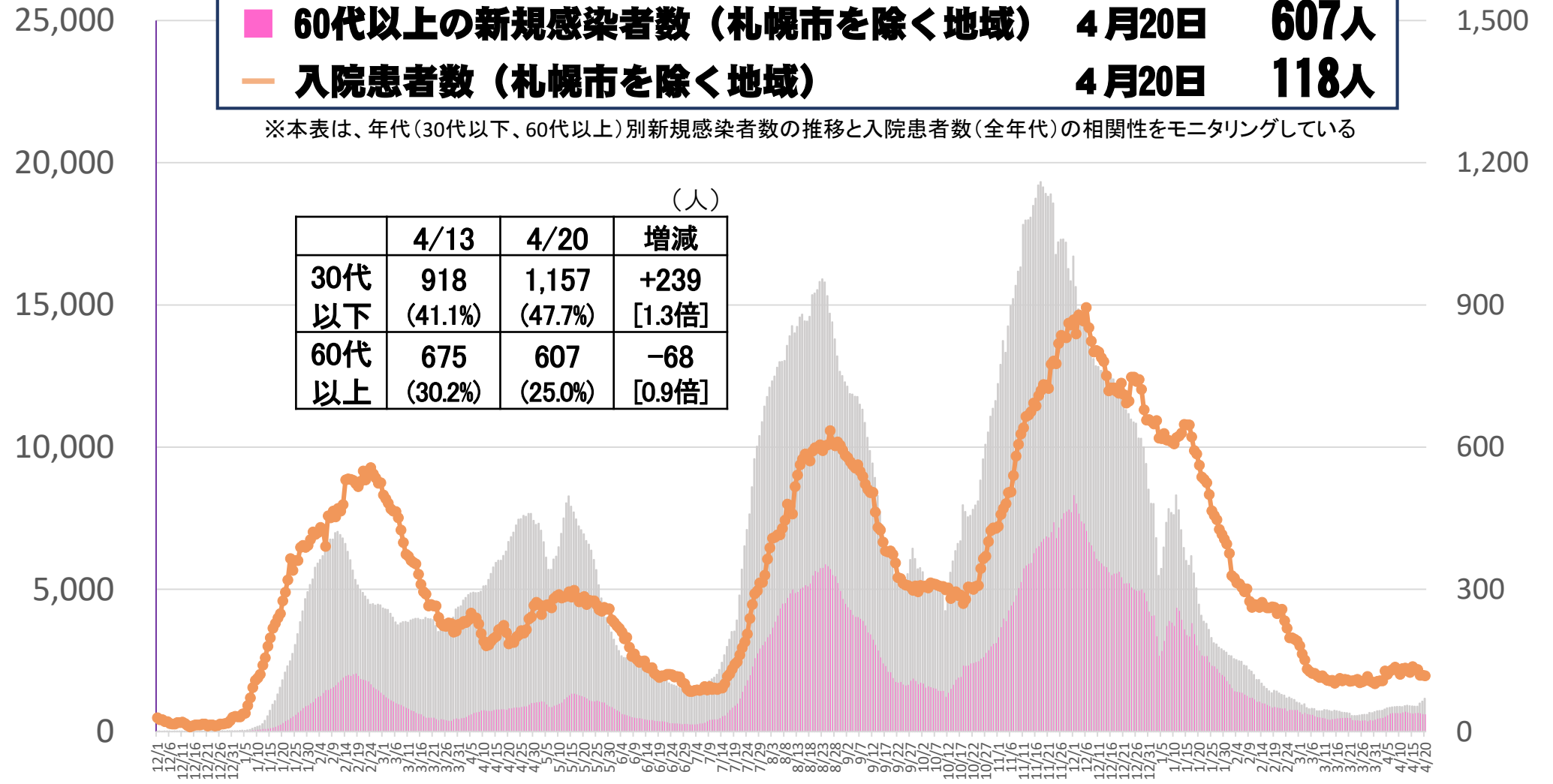
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数
(7日間合計)(人)

| | | |
|---|--------------------------------|---------------------|
| ■ | 30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域) | 4月20日 1,157人 |
| ■ | 60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域) | 4月20日 607人 |
| — | 入院患者数 (札幌市を除く地域) | 4月20日 118人 |

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



| | (人) | | |
|-------|----------------|------------------|----------------|
| | 4/13 | 4/20 | 増減 |
| 30代以下 | 918 (41.1%) | 1,157 (47.7%) | +239 [1.3倍] |
| 60代以上 | 675 (30.2%) | 607 (25.0%) | -68 [0.9倍] |

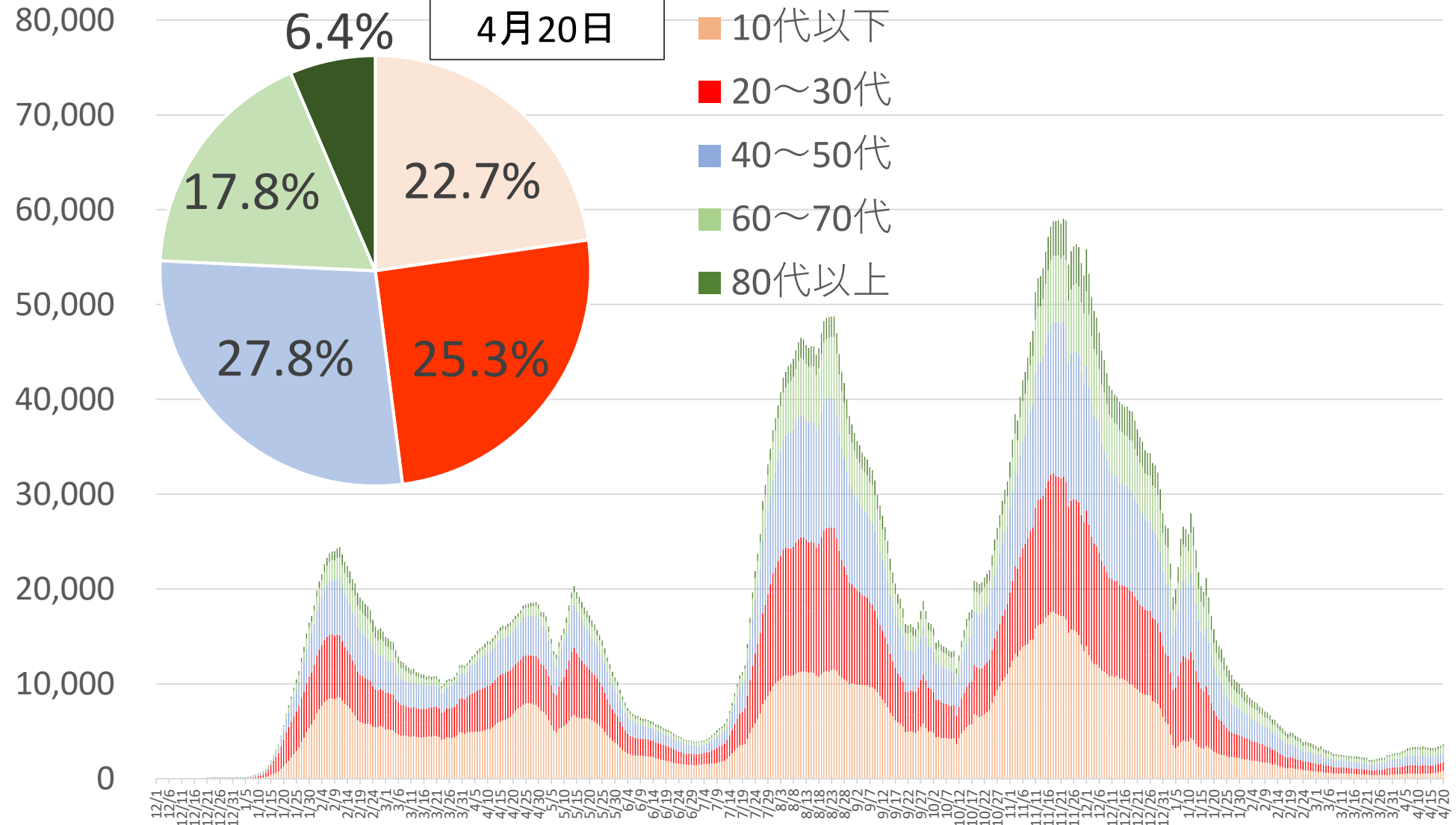
(参考)

| | 4/13 | 4/20 | 増減 | (人) |
|-----|---------------|----------------|----------------|-----|
| 10代 | 151 (6.8%) | 363 (15.0%) | +212 [2.4倍] | |

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

| | 3/31~4/6 | | | 4/7~13 | | | 4/14~20 | | |
|----------|----------|------|------|--------|------|------|---------|------|------|
| | 合 計 | | | 合 計 | | | 合 計 | | |
| | | 医療施設 | 福祉施設 | | 医療施設 | 福祉施設 | | 医療施設 | 福祉施設 |
| 全 道 | 11件 | 8件 | 3件 | 13件 | 3件 | 10件 | 15件 | 4件 | 11件 |
| 札幌市 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 札幌市を除く地域 | 11件 | 8件 | 3件 | 13件 | 3件 | 10件 | 15件 | 4件 | 11件 |

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。4/18現在)

<オミクロン株対応ワクチン接種の状況>

| 区分 | 接種者数 | 接種率 | <参考> 区分 | 接種者数 | 接種率 |
|---------|-----------|-------|---------|------------|-------|
| 北海道 | 2,582,220 | 49.8% | 全国 | 56,525,776 | 44.9% |
| うち65歳以上 | 1,284,332 | 76.7% | うち65歳以上 | 27,302,631 | 76.0% |

<接種回数毎の接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

| 区分 | 1回目 | | 2回目 | | 3回目 | | 4回目 | | 5回目 | |
|---------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 | 接種者数 | 接種率 |
| 北海道 | 4,358,391 | 84.1% | 4,298,951 | 82.9% | 3,698,097 | 71.3% | 2,684,089 | 51.8% | 1,446,197 | 27.9% |
| うち65歳以上 | 1,582,592 | 94.5% | 1,578,819 | 94.3% | 1,528,705 | 91.3% | 1,411,042 | 84.3% | 1,131,467 | 67.6% |
| うち小児 | 57,189 | 21.3% | 55,297 | 20.6% | 27,027 | 10.1% | 2,110 | 0.8% | — | — |

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力職域接種分は含まない。また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 ワクチン接種における道の取組状況(北海道ワクチン接種センターの接種体制)

【概要】

| | |
|------|---|
| 接種会場 | ホテルエミシア札幌(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目) |
| 接種体制 | 運営:北海道新型コロナウイルスワクチン集団接種会場運営委託業務受託コンソーシアム 協力機関:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等 |

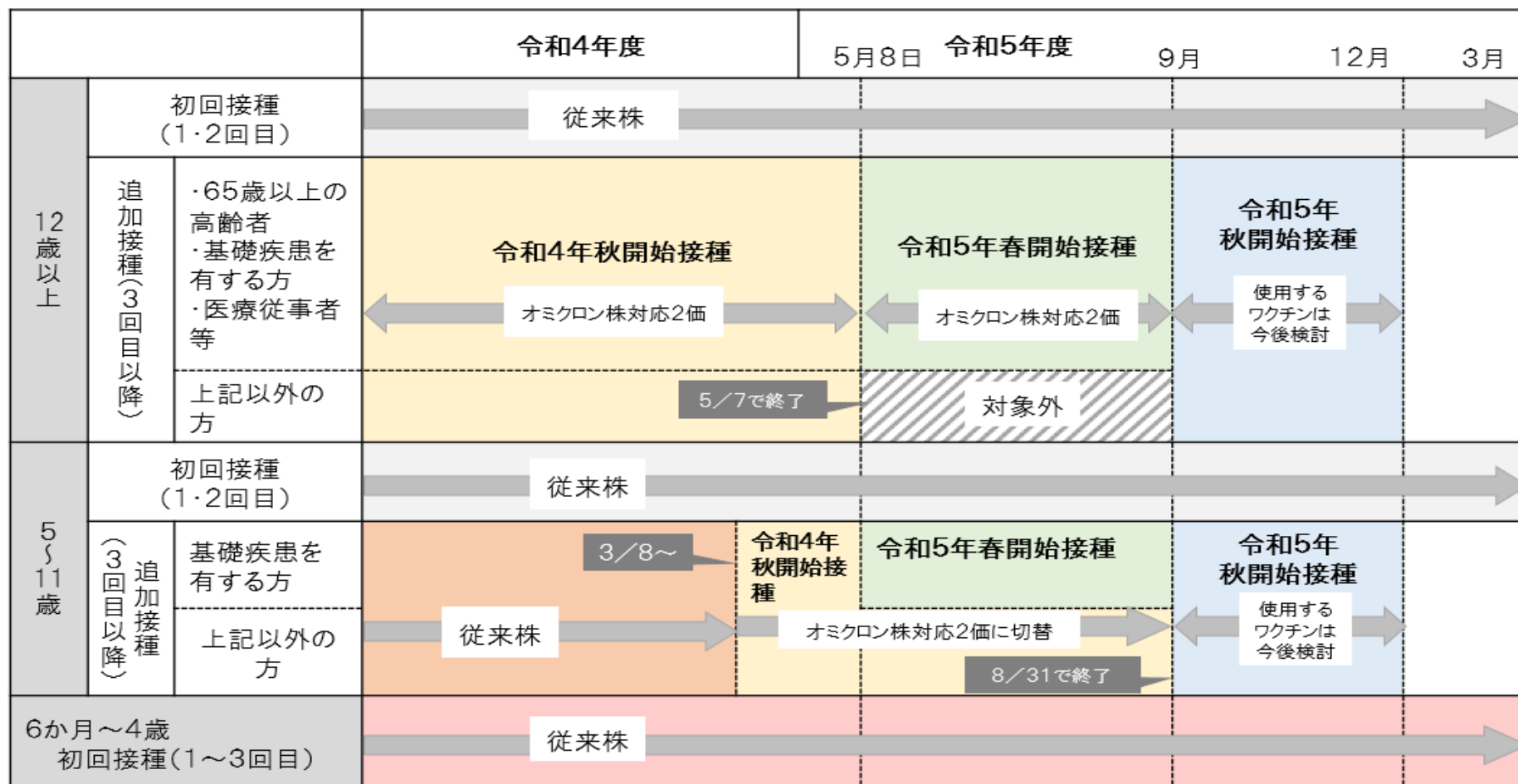
【接種状況】 これまでの接種実績: 103,724回

| クール | 期間 | ワクチン | 延べ日数 | 接種回数 | 年度計 |
|-------|-------------------|-----------------|------|--------|--------|
| 第1クール | 令和3年 6月19日～ 8月13日 | 武田/モデルナ | 56 | 39,092 | 86,786 |
| 第2クール | 令和3年 8月23日～10月21日 | 武田/モデルナ | 60 | 40,902 | |
| | 令和3年 9月11日～ 9月12日 | アストラゼネカ | 2 | 182 | |
| 第3クール | 令和4年 2月11日～ 3月27日 | 武田/モデルナ | 17 | 6,610 | |
| 第4クール | 令和4年 4月 9日～ 5月29日 | 武田/モデルナ | 19 | 4,331 | |
| 第5クール | 令和4年 6月 5日～ 9月25日 | 武田(ノババックス) | 17 | 2,582 | |
| | 令和4年 7月 2日～ 8月27日 | モデルナ | 10 | 2,193 | |
| 第6クール | 令和4年10月 8日～12月18日 | 武田(ノババックス) | 15 | 2,028 | |
| | 令和4年10月29日～12月17日 | ファイザー2価(BA.4/5) | 10 | 3,568 | |
| 第7クール | 令和5年 1月14日～ 3月25日 | ファイザー2価(BA.4/5) | 18 | 1,740 | |
| | 令和5年 1月15日～ 3月26日 | 武田(ノババックス) | 6 | 496 | 16,938 |

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 令和5年度における新型コロナワクチンの接種

- 重症者リスク高い方などを対象に、5月～8月に1回接種(春開始接種・オミクロン株対応2価ワクチン)
 - 5歳以上の全世代を対象に9月～12月に1回接種(秋開始接種・使用するワクチンは今後検討)
 - 生後6か月以上の乳幼児を含め初回接種は継続(従来株ワクチン)
- (令和6年度からの定期接種化を見据え、個別接種(医療機関接種)を中心とする体制へ移行)



新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 令和5年度のワクチン接種における道の取組について

<市町村支援>

- 令和5年度の接種体制やワクチンの配分数など、国からの情報を速やかに情報提供。
- 国から道に納入されたワクチンの各市町村への小分け移送など、きめ細かな支援を実施。

<広報等>

- 子どもの接種や春開始接種など令和5年度のワクチン接種体制について、既存媒体をはじめ、チャットボットなどを活用し周知を図る。
- 副反応や後遺症に関する情報発信を引き続き行う。

<北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター>

- 令和5年度についても、引き続き、北海道薬剤師会協力のもと、運営を継続。

| | |
|------|--|
| 名称 | 北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター |
| 業務内容 | 道内に在住又は滞在している一般住民及び医療機関等からの、以下の電話相談対応業務 ・ワクチンの副反応に関する相談 ・副反応発生時の受診に関するアドバイス ・ワクチンの有効性・安全性に関する情報提供 等 |
| 相談対応 | 受付時間:9:00~17:30(土・日・祝日を含む) 電話:0120-306-154 FAX:011-799-0338 |
| 運営体制 | 委託先:一般社団法人北海道薬剤師会(開設は、令和3年4月10日から) |